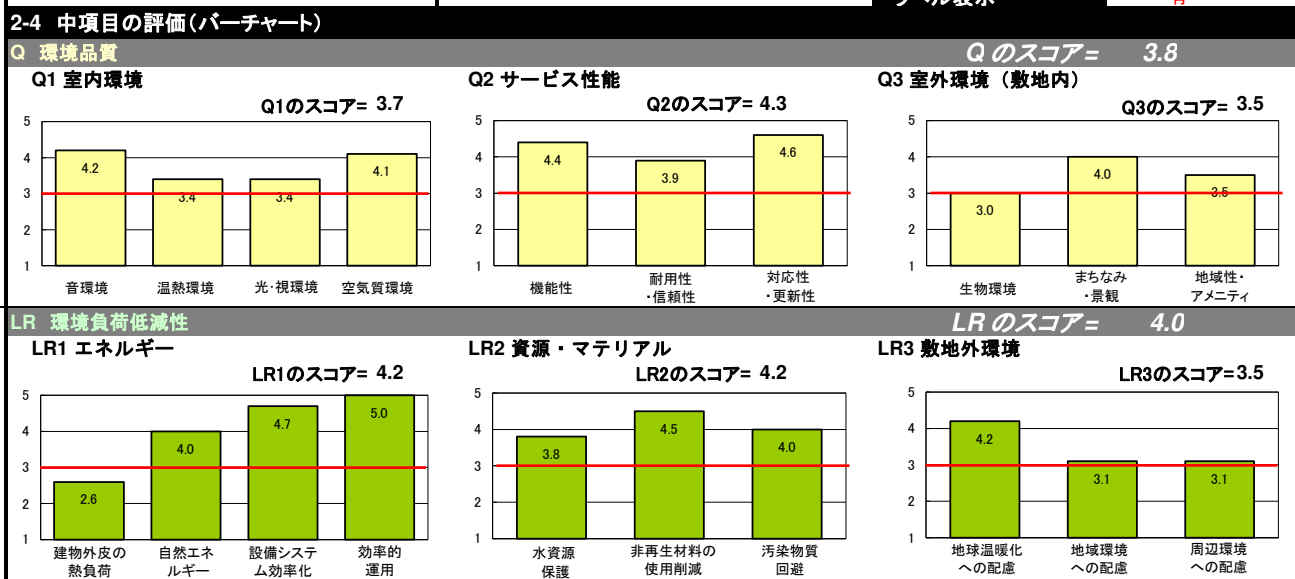
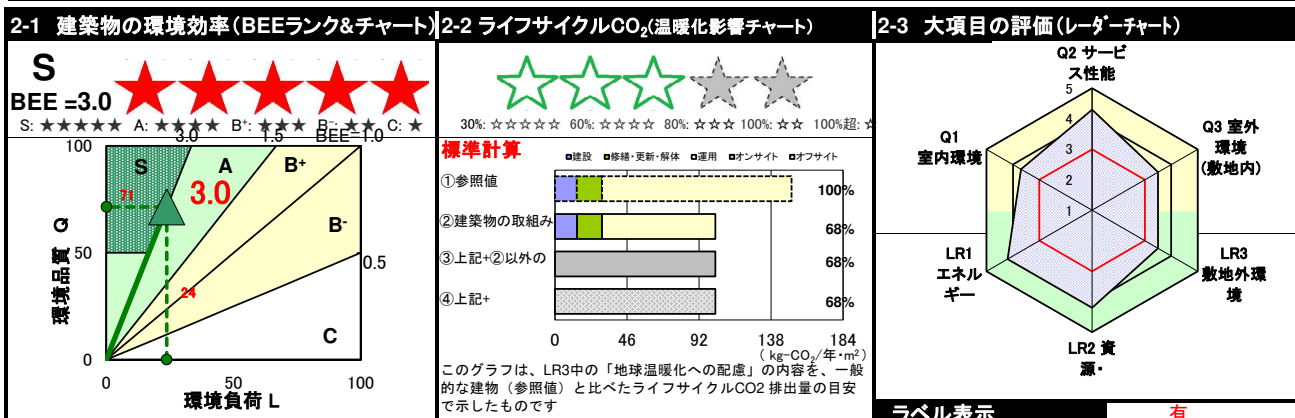




建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観
建物名称	(仮称) 淀屋橋プロジェクト	
建設地	(仮換地) 北浜3丁目地区土地区画整理事業街区 (換地前) 中央区北浜3丁目	
建築用途	事務所	
建築主		
設計者		
敷地面積	3,940.82 m ²	
建築面積	2,686.84 m ²	
延床面積	71,233.77 m ²	
構造/階数	S造 / 地上31階、地下3階	
完了年(予定)	2025年7月	



3 設計上の配慮事項		その他
総合 本計画は、大街区化による土地の有効利用により、ビジネス地区として新たな拠点形成を図るとともに、自立・分散型エネルギーの導入や公共空間拡充に依る防災性向上等を目的としている。災害時の都市機能維持に向け、既成市街地における建物間エネルギー融通を計画することで、環境負荷低減と地域防災力向上を両立した先導性の高いオフィスビルであり、ランドマークとなることから情報発信力もある建物である。		特になし
Q1 室内環境 空間、設備ともオフィスとして高い水準の性能としている。ペリメータ部は、LowE複層ガラスに加え、夏季はブラインド上部からの負荷回収、中間期は上部自動自然換気装置からのコアンダ効果を利用した外気導入、冬季は冷気を床下で吸い込み、年間を通じた快適性を確保している。	Q2 サービス性能 ハイレベルオフィス環境の実現のため、十分なサービス性能を確保し、計画段階より運用担当者との密な打合せを行いながらプロジェクトを進めると共に、メンテナンス性に配慮した建物計画としている。	Q3 室外環境(敷地内) 外装は地域の街並みと調和した石材とし、ライトアップとともに景観に配慮した計画としている。外構は建物4周に店舗を配置し、周囲に植栽を設けることで、周囲に賑わいが創出する計画としている。
LR1 エネルギー 執務者の快適性と省CO ₂ を両立する複数ボイドを活用した自然換気システムを導入している。エネルギー管理及び維持管理の合理化を目的として、クラウド型BEMSを導入し、エネルギーマネジメントシステムを構築する	LR2 資源・マテリアル 躯体材料においてリサイクル資材を使用するなど、環境に配慮した計画となっている。	LR3 敷地外環境 風環境のシミュレーションによる敷地内植栽計画や、雨水抑制対策や廃棄物処理負荷抑制、駐輪場対策により敷地外への負荷とできるだけ縮小する計画としている。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 3.0

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮
4.2	環境に配慮した設備を導入している
配慮事項	LCCO2排出率68%

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出
3.0	周囲に賑わいが創出する計画
Q3 / 3 / 3.2/	敷地内温熱環境の向上
3.0	できる限り緑地を設けた
LR3/ 2 / 2.2/	温熱環境悪化の改善
3.0	風環境のシミュレーションによる敷地内植栽計画
配慮事項	景観に配慮した計画としている。

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制
2.6	BPI=0.98
配慮事項	特になし

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化
4.7	BEIm=0.63
配慮事項	快適性と省CO2を両立する設備を導入している。

省エネルギー基準計算結果

基準
適合状況

適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級) - (相当)	非住宅部分[BPI][BEIm] 0.98
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm] 0.63	住宅部分[BEI] - 非住宅部分[BEI][BEIm] 0.63